

# ニュース

第199号

発行日 平成30年10月15日  
 発行者 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資  
 〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20  
 電話 0299 (69) 2222  
 FAX 0299 (69) 2237  
 ホームページ <http://nakadaiikushinen.jp/>

## 今月の生活目標

【単 元】

□ 日常の生活



【目 標】

- 生活と仕事の関連を理解し、皆と協力しながら、自主的に動けるようにしましょう。
- 自分の役割りと責任を果たすことができるようになりましょう。

### 「ミュージック・ケア全国大会に参加して」

副主任 高野 暁代

去る8月4日から三日間、つくば国際会議場にてミュージック・ケア全国大会が開催されました。大会のオープニングとして模擬演奏の発表があり、39名の利用者さんと7名の職員が参加しました。今年4月に千葉相談支援専門員から利用者の皆さんに「全国大会で皆さんに模擬演奏の発表をしてほしいのですが、いいでしょうか？」と話があった時、皆さんとても嬉しそうにうなずき、「はい！がんばります！」と大きく答える声もありました。

そして4か月先の本番に向けて練習がはじまりました。発表1か月前からは、日課も変更して練習を重ねました。本番同様の集中力を見せてくれる反面、徐々に高まる緊張に不安が拭えなくなり、「やりたくない」「行かない」と言い出す利用者さんの声も聞こえてきました。ですが、そんな後ろ向きな気持ちでも、練習が始まり、演奏の曲が流れると、誰もが自然と楽器を手に取っていたのです。

発表当日、予想以上の会場の大きさに、職員も利用者さんも、ステージに立つ全員が圧倒されてしまいました。刻々と発表の時間が迫る中、



慣れない場所への緊張も合わさり、皆ドキドキと不安が混じったような表情だった事を覚えています（私も緊張で直前の記憶があまりないのです）。しかし演奏が始まると、皆の顔は楽しさと自信に溢れたものに変わっていき、大きな会場、大勢の観客を前に、堂々とした演奏を披露できたのです。発表が終わると会場からの割れんばかりの拍手。一人一人の演奏が、心と心を響かせ合い、満ち足りた時間や空間を共有できた瞬間でした。

私が全国セミナーのスタッフとして参加したのは今回が初で、その中で様々な事を学びました。中台で毎週行っているミュージック・ケアでも、対象者の状況や状態を見るアセスメントが必要である事、対象者に強制的にやらせるものではなく、リーダー自身が参加者を惹きつけるセッションを目指さなければならぬ事、障害があってもなくても音楽の力でお互いの関係性を深めていけるという事など、日頃から漠然と感じていた事を再確認できました。ミュージック・ケアの場合は、対象者が安

心していられる時間であり場所でないければならない大切さも強く感じました。

日常生活支援にあたって私が意識している事は、利用者さんにとって安心できる場所や時間を提供すること、個々のできる事を多く取り入れ、ほめ励まし、生活への意欲が向上するよう、困難な事にも前向きに取り組む事ができるようにすることです。これらは全てミュージック・ケア実践につながる事だと思えました。

今後も利用者の皆さんにうるおいのある生活を送っていただけたらと思う、今回学んだ事を活かしていきたいと思っています。



すばらしい演奏を披露してくれました。(上段は演奏中の様子)  
 :ミュージック・ケア全国大会オープニング 模擬演奏発表

# 「夏祭り2018」

生活支援員 豊田 惇平

去る7月29日、当園の夏まつりが開催されました。

今回の夏まつりは、私が初めて担当した園行事でした。2か月前から計画的に準備を始め、それが着々と整ってくと同時に私の不安と緊張も徐々に増していました。そして開催直前の台風情報に、張り詰めた緊張が弾けてしまいました。どうしたものかとただ戸惑うだけだった私を支えてくれたのは同僚の職員たちであり、家族であり、そして利用者の皆さんでした。そんな周囲の温かいサポートのおかげで何とか気持ちを立て直す事ができました。

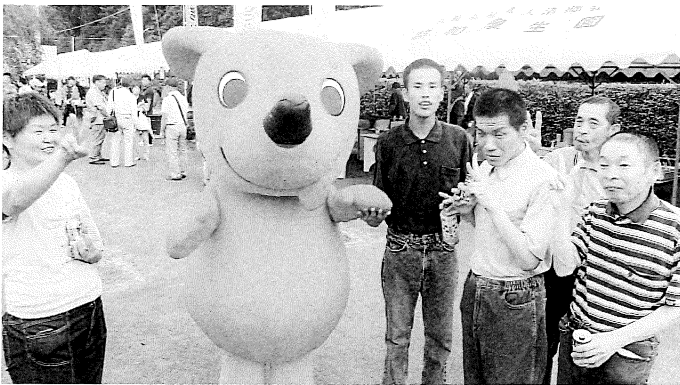
心配していた台風は前日に通過し、夏まつりは無事開催できる事となりました。しかし、一週間前から準備した会場は台風襲来のため一時撤去。風が治まった当日午前中に再度組み立てをするという慌ただしい段取りになってしまいました。結果、例年より簡素な作りになってしまいました。準備を終えた会場を見渡し、ようやく胸をなでおろす事ができました。

徐々に日も傾き開会の時間が近づくと、大勢の地域の方々やご家族の方々と会場は大賑わい。盛大に夏まつりを迎える事ができました。台風

一過の夜空の下、会場にはたくさん笑顔があふれていました。それだけでこの2か月間、準備に奔走したかいがあったと、苦労が報われた気持ちになりました。

今回の行事の成功は、ひとえに皆さんのおかげです。『周りの人々に助けられ、学んだ』これが私にとっての成果でした。最後に、この紙面をお借りしまして、お忙しい中ご参加くださいました地域の方々、保護者の皆様、そしてまだまだ未熟な私を全力で支えてくださった職員、利用者の皆さんに心からの御礼を申し上げます。

ありがとうございます。



ご当地キャラ・チーバ君と☆(協和厚生園 夏まつり)

## 厨房だより

調理員 大森 妙子

私には26歳になる息子がいます。ある日の夕食時、突然息子に「うちにはおふくろの味がないね」と言われました。正直、ショックでした。『おふくろの味』とは何だ? それからしばらく私の頭の中にはこの言葉がぐるぐる巡っていました。できるだけ手作りにこだわってきたつもりでした。しかしそれはただの自己満足だったのかもしれませんが。スーパーで手軽に手に入る、おいしく調合された調味料に頼っていた事に気付いたのです。そして、惰性でご飯を作っていた事にも…。おふくろの味がないと息子が思ったのは、それらが原因だったのかもしれません。

その時、中台の給食を思い出しました。中台では調合された調味料を極力使用せず、前日から工夫をして仕込みをし、毎日の食事を作っています。きっとこれが、『おふくろの味、中台の味!』

利用者の皆さんに「おいしい」と言ってもらえるよう、そして、私たちの作った食事が皆さんの『おふくろの味』と感じてもらえるよう、これからままごころ込めて作っていきます。

食事は、ただ『食べる』だけではなく作り手の『まごころ』を伝えているものなのだ気付かせてくれた息子に(本人がどういった意図で言ったのかはさておき)、感謝しています。



### ☆おしらせ☆

～勤労感謝祭のご案内～

[日時] 平成30年11月18日(日)  
10:30～14:00

[場所] 中台育心園 大ホール他

[内容] ◎各種飲食模擬店  
◎ステージ発表、ゲーム  
◎パン販売 など

# グループだより

## ★ひまわりグループ

### 『元気の源』

今年度からひまわりグループの担当となり、毎日が賑やかに慌ただしく過ぎていきます。そんな日々の中で、利用者の皆さんの笑顔と明るさが私の元気の源になっています。

宮渕さんは、私が出勤するといつでも「こんにちは！」と笑顔で挨拶をしてくれます。15時のおやつタイムが終わると、「掃除は？」、職員

ムが終わると、「明日は(来るの)？」と、確認をしにきます。翌日が休みの時は「休みです」と答えると、「次は？」と、すかさず聞いてきます。普段は無口な宮渕さんですが、ちよつとしたタイムングで話しかけてくれる、そんな小さな関わりも、元気の源です。  
(入江)

## ★すみれグループ

### 『好きなことたくさん』

山中侑子さんには好きなことがた

くさんあります。

一つは歌です。特に舟木一夫さんが大好きで、部屋に飾られたポスターを見てうっとりする程♥カラオケの十八番は『高校三年生』です。

二つ目はダンスです。一番好きな曲は『きよしのドドンパ』だそうです。曲が流れると元気いっぱい体を動かかし始めます。

他にも、毛糸遊びやぬり絵、お絵描きにパズル、最近はカード並べがお気に入り。趣味がたくさんあって楽しそうです。今日は何をして過ごすのかな。  
(林)

## ★あざみグループ

### 『よろこぶお願いします』

今年度よりあざみグループ担当となりました。中台に入職して4年、今まではのぞみホームの担当だったので、最初の頃は毎日が戸惑いの連続でした。そこで、まずは皆さんと少しでも多くの時間を一緒に過ごす事を目標にしました。

竹添さんは、掃除の時にはホウキとチリトリを器用に扱っています。坂本さんの「洗濯干すよー」の一言で、みんなが集まってきます。平間さんはきれいに履物を並べてくれます。島村さんは重い荷物を軽々持ってお手伝い。湖林さんは捨てる段ボールを小さく破ってゴミ袋へ。大野さんはジェスチャーでいっぱいお

話をしてくれます。柳堀さんの衣類ケース内はとってもきれいに整頓されています。石田さんはニコニコしながら窓掃除。

あざみグループの8名は、とても素敵な笑顔の持ち主でした。皆さんから笑顔のパワーを頂いて、今日も一日がんばります！  
(長岡)

## ★なごころグループ

### 『仲良くしよう』

8月上旬に野口さんが退院され、元気に帰ってきました。グループの皆は、口々に「おかえり」と温かく迎えていたのですが、大足さんは野口さんの顔を見たとき、「おかえり〜！」と涙を流して喜んでいました。

実は、大足さんは数日前から「帰ってくるの、明日？」と、そわそわしていました。朝も、「今日帰ってくる？何時？」と、職員に何度も聞きに来ていて、野口さんに会えるのを楽しみにしていたのです。そんな大足さんを見て、野口さんも「たたいま〜」と笑顔で応えていました。しばらく会っていないけども、二人の心の距離は変わっていませんでした。野口さんが戻り、約1か月半ぶりになでしこグループ全員がそろいました。これからも皆で仲良く過ごしていきたいと思います。  
(祐尾)

## 『実習を終えて』

聖徳大学3年 萩原 美樹

今回の実習で学んだ事は2つあります。

1つ目は利用者の皆さんは何事も一生懸命取り組んでいるという事です。初めて施設に来た時も元気に挨拶して下さった事を覚えています。洗濯や清掃、ミュージック・ケア、体力づくり、模擬演奏、外出とたくさんの事を一緒に体験させていただきましたが、どの活動でも頑張っている姿や楽しそうな姿を見る事ができました。皆さんとても優しく、私がいわからなくて困っていたらすぐに教えてくださり、色々な面で助けていただきました。

2つ目は、職員の方の利用者さんとの関わり方や支援の仕方です。職員の方によって、利用者さんとの関わり方は違っていました。支援をする時は同じ手順で、職員同士で連携を取っていると感じました。利用者さんの事を考え、工夫されていて、支援の一つ一つに理由があると教えていただきました。施設で働くのはとても大変そうですが、それと同じくらいやりがいのある仕事だと感じました。

私にとって障害者支援施設での実習は初めてでしたが、11日間楽しくたくさんのお話を学ぶ事ができました。中台育心園で実習をする事ができてよかったです。

短い間でしたが、本当にありがとうございました。

平成30年度

# 夏まつり



## 夏祭りが始まるよー!



### 跡 跡 跡

【7・8月】

【寄付】

- ▼平本よし子様
- ▼安律子様
- ▼石神様
- ▼菅谷誠様
- ▼池田洋様
- ▼ウエル西様
- ▼小野口里子様
- ▼柳堀實様
- ▼橋爪八重子様
- ▼飯島昭子様
- ▼野口勇様

【来園者】

- ▼羽生明義様 (絵画指導) ▼アンサンブルウイズ様 (演奏ボランティア) ▼横田裕樹様 (会計監査) ▼永光パートナーズ渡辺様 (会計指導) ▼県福祉指導課 河内様、椎名様、田島様・鹿嶋市役所 飯島様、宇佐美様 (行政監査) ▼マイナビ 小磯様 (システム指導) ▼東日観光 高橋様 (打ち合わせ) ▼特別養護老人ホームしらとり 塙律雄様 (研修講師) ▼県立こども政策局 古谷様、田口様 (聞き取り調査) ▼ウエルポート鹿嶋の郷 小原様 (聞き取り調査) ▼萩原美樹様 (実習打ち合わせ) ▼栗原貴様、安律子様 (面会)

【日中一時支援】

- ▼本谷竜久さん (放課後支援)
- ▼飯野泉さん
- 【短期入所】
- ▼篠田純一さん
- ▼福栄都さん
- ▼藤沼光司さん

【職場体験】

- ▼鹿島中学校2年生2名
- パン工房梵天 (8月21日)
- 【7・8月誕生者】

- ▼藤岡美智子さん (7月16日)
- ▼島田椎さん (7月17日)
- ▼竹添幸也さん (7月20日)
- ▼久保田雅子さん (7月22日)
- ▼星野敏行さん (7月23日)
- ▼大谷光明さん (7月27日)
- ▼野原みち代さん (7月28日)
- ▼沼田賢治さん (7月29日)
- ▼川尻勝久さん (8月11日)
- ▼島村龍馬さん (8月12日)
- ▼野口円さん (8月13日)
- ▼飯塚秀男さん (8月16日)
- ▼細田正弘さん (8月20日)
- ▼小沼好静さん (8月29日)

### 編集後記

連日猛暑酷暑に耐えたこの夏。ようやく涼しく過ごしやすいい日々がやってきました。そして、暑さに勝てなかった我が家の家電たち。

最初はミキサーでした。続いて電子レンジ。そして、春先から不調が続いていたパソコン。今まで騙し騙し使っていたのですが、暑さのせいかわかりませんが、かなりの深刻な症状になってしまいました。

結局、三つとも新しいものを買いました。新しい家電は嬉しいです。キレイだし、快適だし♪ですが、その代償は・・・薄くなったお財布に、秋の風が優しく通り過ぎていくのです。

(チヨダ)